



### 「学校と地域で育むユネスコスクールの子どもたち」

富山市立五福小学校

本校は、平成22年にユネスコスクールとして認定されて以来、E S D（持続発展教育）の考え方を生かした学習活動の推進に努めてきました。今年度も、身近な人や地域の人、出来事、環境等に進んでかかわり、互いの存在を大切にする子どもの育成に取り組んでいます。

中でも、生活科や総合的な学習の時間では、五福地域の様々な人材や豊かな自然等の財産を生かして、米作り体験や里山学習、「地域の方々に学ぶ活動」等を行っています。子どもたちは、地域の人や自然に繰り返し関わることで、その魅力を肌で感じながら学びも心も豊かにしています。

また、毎日帰りの会で行っている「ほめ言葉シャワー」は、子どもたちの豊かな表現力を培うだけでなく、子ども同士の共感的・受容的な関係の中で自尊感情や自己肯定感の高まりを育んでいます。

これからも、人や社会、自然環境とかかわることの楽しさを味わい、互いの存在を大切にしていこうとする子どもを育てていきたいと考えています。



地域の方に学ぶ様子



### 「今日が楽しく 明日が待たれる学校」を目指して

富山市立奥田中学校

本校は、富山市の経済や交通の中心に位置し、商業・娯楽施設が点在する地域にあり、5つの小学校区から成り立っており、全校生徒約700人の大規模校です。学校選択制により、他校区からの入学生も多くいます。

昨年度よりグラウンドの整備工事が始まりました。今年度の秋からは本格的にトラック内の工事に入り、冬には新しいグラウンドに生まれ変わります。

「自主 創造 敬愛」の校訓の下、生徒と教師との信頼関係を基盤に「今日が楽しく 明日が待たれる学校」を目指しています。今年度は、朝学習時の読書活動に加えて、毎週金曜日の朝は「NIE 活動」を導入し、全校生徒が教諭の選んだ新聞記事を読み、感想を書いています。

「読む力」のみならず「書く力」を育み、社会の出来事に関心をもって、主体的に学ぶ学習環境づくりを推進していきます。



日々学習に励む生徒たち